

# 諏訪地方の経済概況速報

平成26年9月

(平成26年8月末調査)

平成26年9月25日

長野県岡谷市郷田二丁目1番8号

諏訪信用金庫  
経営相談室

<http://www.suwashinkin.co.jp>

TEL 0266(23)4567

FAX 0266(23)8044

		実 数	前年同期比	
有効求人倍率【 7月】	諏訪公共職業安定所管内	1.14 倍	0.30 ポイント	
手形交換高【 8月】 (諏訪手形交換所扱)	枚 数	4,710 枚	△415 枚	
	金 額	5,648 百万円	△691 百万円	
	うち不渡り	枚 数	1 枚	△2 枚
	発生状況	金 額	330 千円	△1,640 千円
電力使用量【 8月】 (中電諏訪営業所管内)	電灯電力計	44,697 MWh	△1.1 %	
	高圧電力計	97,580 MWh	△0.2 %	
	合 計	142,277 MWh	△0.5 %	
車庫証明取扱件数【 8月】(諏訪地方合計)		720 件	△8.6 %	
新設住宅着工戸数【H26年4月～7月】(諏訪管内)		376 戸	△13.0 %	

□本文は、当金庫の取引先約 130 社へのヒアリング調査による取りまとめ。

## 地域の概況

8月の諏訪地方は、茅野市で発見された土偶「仮面の女神」が正式に国宝指定されて地元を中心とした盛り上がりがあり、岡谷市では世界文化遺産登録の富岡製糸場関連で、リニューアルした岡谷蚕糸博物館がにぎわいを見せた。しかし、記録的な日照不足の多雨傾向となり、天候不順が商業や観光業に大きな影響を及ぼした。県内のガソリン価格は下落傾向を示したものの、依然高値圏で推移した。製造業は概ね堅調で建設業は一服感が見られる。雇用情勢は、諏訪地方の有効求人倍率が全県や全国の平均を久しぶりに上回り、労働力確保が経営課題となる企業が増加している。

### ●製造業 「総体的に堅調、一部に弱含み感」

自動車部品などの輸送用機械関連は、コストダウン要請で収益確保に苦慮する企業もあるが、安定した横ばい状況の企業が多くなっている。北米や中国向け部品で海外子会社の取引量が増加している企業もある。ただ、一部にはこれまで好調に推移していた売上げがやや減少した企業もあり、不安定な世界情勢などで先行きが楽観視できないという企業もある。金属部品加工は、自動車部品関連を中心に堅調だが、春先の増加から平常に戻る動きも見られる。工作機械や専用機などの一般機械は、好調を維持している企業と、「弱含み始めている」と感じる企業がある。大手企業の設備投資計画が増加し、今後は好調に推移するという見方もあり、まちまちな状況となっている。電気機械は北米や新興国向けのプリンターが好調だが、生産の海外移転で、恩恵が少ない下請け企業もある。精密機械は、車載用カメラや医療用レンズなどは堅調だが、取引先によって受注にばらつきがある。8月から新規見積もりが減少した企業がある反面、今後の受注増で人手不足を予想する企業もある。

### ●商 業 「天候不順で夏物商品が低調」

8月の諏訪地方は記録的な日照不足で、真夏日は昨年より半減した。衣料は消費増税の影響に

天候不順が拍車をかけ、買い控え傾向となった。食品は生鮮野菜、特に葉物野菜が値上がりし、カット売りで対応する小売店があった。熱中症対策用品の動きも鈍く、エアコンや冷蔵庫などの家電販売は総体的に低調だった。日照不足を反映して、夏物のすだれやカーシェードも振るわなかった。一方、今夏は国内にデング熱が広がったことで、例年は8月下旬には売れなくなる虫除けスプレーが、東京出張者などが購入し、売れ行きが持続した。自動車販売は、諏訪地方の8月の車庫証明件数が720件で、前年同月比68件、8.6%の減少だった。前月比では236台、24.7%減少している。

### ●観光・サービス業 「山岳観光低調、屋内施設は好調」

霧ヶ峰や車山、八島などの高地は天候不順の影響を受けた施設が多い。今夏は山岳観光が極めて低調となり、ここ数年の中では最悪の状況という施設もあった。7月までは前年を上回るペースだった富士見方面も盆期間を中心に落ち込んだ。ただ、合宿を取り込んだ施設は比較的堅調に推移した。また、中京方面の常連客からの予約が、南木曾の大雨被害の影響で軒並みキャンセルとなった施設もあった。反面、屋内施設は来場者数を伸ばす傾向で、岡谷蚕糸博物館は好調な出足となった。上諏訪温泉の8月の宿泊者数は前年比横ばいだった。昨年は諏訪湖上花火大会中止による返金があったため、今年の売り上げは前年より増加した。海外旅行客は、減少していた中国人が増加傾向となっている。観光バスのツアーは、事故による法規制強化で大幅に減少している。

### ●建設業 「アベノミクス効果の前年より減少も今後期待感」

市町村の8月の発注工事は合計68件、735百万円となった。前年同月に比べ、件数は10件減少したが、契約金額では104百万円増加した。一方、県関係の8月の公共工事(地元業者受注分)は18件、668百万円だった。平成26年4月～8月の累計は47件2,564百万円で、前年同期の累計比で件数は27件減少したが、契約金額は大口工事が出始め、154百万円増加(6.4%)した。今後も砂防工事や安全対策工事を中心に堅調に推移する見込み。民間工事は、諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数が91戸で、前年同月比2戸の増加(2.2%)となった。平成26年4月～7月の累計比では56戸の減少(△13.0%)となっている。

### ●雇用 「有効求人倍率が全県、全国平均上回る」

諏訪地域の7月の有効求人倍率は、前年同月を0.30ポイント、前月を0.08ポイント上回る1.14倍となった。前年同月を14ヶ月連続で上回り、全国平均の1.10倍を2年2ヶ月ぶりに上回った長野県平均の1.12倍も上回った。「臨時・季節」を除く常用求人倍率も1.08倍で、リーマン・ショック以前の数値となっている。新規求人(全数)は1,728人で前年同月比231人増加(15.4%)した。要因別では「継続する人員不足」「欠員補充」「創業・新分野展開」が増加し、「業務量増大」は減少した。業種別の前年同月比の新規求人数は、「建設業」で105.7%、「運輸業」で101.9%増加し、「生活関連サービス・娯楽業」が19.0%減少した。新規求職者数は816人で、前年同月比168人減少(△17.1%)した。1件10人以上の人員整理はなく、事業主都合による雇用保険資格喪失者は43人で、前年同月比240人減少し、前月比でも5人減少した。多くの分野で人手不足感が表れている。

## 業種別動向

### 1. 電気機械

プリント基板	価格競争が厳しく、業界全体は低調に推移している。
プリンター	新興国向けの大型プリンターの販売は好調だが、多くの部品で海外移転が進み、国内下請けへの波及効果が少ない。
コンタクター・リレー	海外向けなどに動きが出始め、全体的に受注が活発化し、今後も好調推移の見通しとなっている。

### 2. 輸送用機械

自動車	取引先の動向によって増減があったり、生産の海外移転、厳しいコストダウン要請などの影響はあるものの、総体的に海外子会社を含めた受注は好調に推移している。試作や自動車の電装化に伴う部品にも動きがある。今後も好調見込みの企業が多い。
船外機	受注は良好に推移している。新興国向けは横ばいで、北米、欧州向けが好転し、当面受注は安定する見通しとなっている。
その他	二輪部品は若者の二輪車離れなどで低調で横ばい。

### 3. 一般機械

工作機械・専用機	取引先の設備投資で、受注が増加し多忙になる企業が増えている。一方で、新開発の機械より改良型が多く、受注が厳しいと感じる企業もある。円安が続き、完成品の北米向け輸出は好調を維持している。
搬送用機械	受注残が増え上向き傾向。大手企業の設備投資計画が増加していることから、今後も堅調に推移すると見られる。
金型	自動車関連、車載部品関連などで回復の動きがある。
ダイカスト	量産物の受注が増えた企業もあり、回復傾向が見られる。

### 4. カメラ・レンズ

デジタルカメラ	全国のデジタルスチルカメラの7月の生産台数は約344万台。前月比1.1%増加したが、前年同月比では31.9%の減少となった。7月の出荷台数は国内出荷約44万台、海外出荷約305万台の合計約349万台となり、前月比5.0%増加、前年同月比では33.6%減少となっている。
レンズ	事業を縮小する企業があり、技術力がある企業に受注が集約される傾向。これまで堅調だった研究機関向けレーザー用レンズ、医療機器用レンズは新規見積もりがやや減少し、今後の受注減少が懸念される。

## 5. 繊維

ニット

冬物の生産が繁忙期で、8月は最盛期。原材料、燃料が値上がりしているが、価格転嫁できず収益は悪化傾向となっている。

## 6. 食品

寒天

盆期間の天候不良の影響で、観光施設の売上げが大幅減少した。道の駅も二極化した。

味噌

低調な動きが続いているが、原材料は米の高騰が収まり、他の部材価格も落ち着き、前年より収益の伸びが期待される。

## 7. 製材

諏訪地方の7月の木造新設住宅着工戸数は82戸で、前年同月比7戸増加(9.3%)した。

## 8. 建設

公共工事

8月に地元業者が受注した県関係の公共工事は、諏訪建設事務所9件、林道治山工事関係1件、農地整備課3件、長野国道事務所等国関係2件、その他土木・建築工事2件、県警察1件の合計18件で、契約金額は668百万円だった。平成26年4月～8月の累計は47件、2,564百万円となり、前年を上回った。一昨年同期累計比では1,009百万円、64.9%の増加となっている。ただ、原油価格の高騰などによる資材価格の上昇で実質赤字工事となるケースもある。急激に工事単価が上がっているため、設計見積もり時点と入札時点でタイムラグがあり、不調となる入札もある。

市町村の8月の発注工事は、建築工事8件272百万円、土木工事及び下水道工事54件419百万円、その他工事6件44百万円の合計68件735百万円となった。

民間工事

諏訪地方の7月の新設住宅着工戸数は91戸で、前年同月比で2戸の増加(2.2%)となった。前年同月比の利用関係別では、「持家」は4戸増加の83戸、「貸家」は4戸減少の0戸、「分譲」は2戸増加の8戸となった。平成26年4月～7月の累計は376戸で、前年同期累計比では56戸の減少(△13.0%)となっている。当面の工事量は確保している企業が多いが、小口のリフォームや事務所・店舗改修で人手不足になる企業と、これまで堅調だった動きが落ち着いてきたとする企業がある。

長野県内の7月の新設住宅着工戸数は929戸で、前年同月比23.8%減少した。前年同月比の利用関係別では、「持家」が647戸で21.1%減少、「貸家」は211戸で13.9%減少、「給与」は0戸で100%減少、「分譲」は71戸で53.6%減少した。

## 9. 商業

衣料	浴衣や水着は例年並みだったが、天候の影響が大きく、夏秋物商戦は総体的に振るわなかった。
食料品	天候の影響で生鮮野菜、特に葉物野菜が値上がりし、缶詰類も値上がりした。食料品や生活用品の売り上げは増税後もほとんど変わらない。
家電製品	エアコン、冷蔵庫の販売が非常に低調で、ほかの家電製品も買い替え需要がなく低調に推移した。
自動車	県内の8月の新車新規登録台数は、登録車が2ヶ月ぶりに減少し、軽自動車も4ヶ月連続で減少した。全体では前年同月比1,020台減少(△12.9%)の6,874台で、2ヶ月ぶりに減少した。
ホームセンター	盆に帰省者を迎えるための掃除用器具や洗剤が好調だった。園芸用品は屋外用の鉢花植物は振るわず。反面、屋内用の観葉植物は好調だった。天候が悪いので、屋外で植物を楽しむ傾向が見られた

## 10. 観光

上諏訪温泉	8月の宿泊人数は前年同期比90～100%台の施設が多く、ほぼ横ばいだった。中央西線不通の影響はほとんどなかった。
蓼科・白樺湖・車山等	天候不順によるキャンセルがあった施設が多く、ロープウェイや山小屋など標高が高い地域ほど低迷した。
下諏訪温泉	学生の夏合宿が前年より大幅に増加して、売り上げが伸びた施設がある。天候が悪い日が多いため、室内施設で過ごす観光客が目立った。
諏訪大社	上社・下社合わせた8月の参拝者数は約6万6千人で、前年同月比では約5千人の減少(△7.3%)となった。団体の参拝客は訪れているが、週末の天候不順などで前年を割り込んだ。

### ● 企業からのコメント

- ・ 「仕事はあるが、良くない感じもする」という同業者が多く、踊り場の状態か。春先の上り調子とは違う感じがする(一般機械製造業)。
- ・ 自動車はハイブリット化に加え、運転などの新技術が動き出し、その流れにうまく乗ることが重要になってくる(自動車部品製造業)
- ・ 主要取引先からの受注は例年より好調で、特に高級品の受注が増加している(衣料品製造業)
- ・ 大手企業のアベノミクスの恩恵は1次下請けまでで、2次より下には回ってこない(精密機械製造業)
- ・ 堅調だった動きが止まり、落ち着いてきている。好調だったリフォームも下火になってきた(建設業)。
- ・ 去年は晴天が多かったが、今年は常に雲がかかった天候で、利用者が激減した(観光業)
- ・ 野菜の高騰が続くと、乾燥ワカメ、ひじきなど乾物類が人気となりそう(小売店)